

# 2011年度医事法

第7回 2011年5月31日火10時20分

22番教室

樋口範雄・児玉安司

[nhiguchi@j.u-tokyo.ac.jp](mailto:nhiguchi@j.u-tokyo.ac.jp)

# こちらのサイトで

- <https://sites.google.com/site/higuchi2011/2011nendo--iji-hou/kougi-shiryou>
- 東京大学オープンコースも復活
- <http://ocw.u-tokyo.ac.jp/>

- 4月5日 授業の進め方と判例28(クロロキン薬害訴訟)板持  
12日 休講(入学式のため)  
19日 判例29(ステロイド剤注射)西田 判例30(薬害エイズ)中川翔太  
26日 判例31(健康食品)渡辺 判例32(同意入院)浅岡
- 5月10日 判例33(精神障害者の自殺)淵上 判例34(院外他害行為)下山  
17日 判例35(院内他害行為2)坂下 判例36(他害行為と保護者)伊勢  
24日 判例37(ロボットミ手術)小西・秋元  
判例38(死後精子移植)小倉  
31日 判例39(墮胎・遺棄致死)橘 判例40(性転換手術)社本・田中
- 6月7日 判例41(東海大学事件)杉浦・内堀 判例42(人工呼吸器外し)西村  
14日 判例43(腎移植)廣瀬・坂田 判例44(輸血拒否事件)新井  
21日 判例45(採尿検査)西田 判例46(病理解剖標本)小林・松田  
29日 判例47(中絶胎児の廃棄)鈴木・王  
判例48(中性子線と実験的医療)射手矢
- 7月5日 判例49(臨床試験とプロトコル)佐藤 判例50(同意)市川・木村  
12日 判例51(治験と贈収賄)飯田 判例52(後発薬品)柿本 ??

# 判例38(死後精子移植)小倉

高松高裁平成16年7月16日判決

- 最高裁平成18年9月4日判決

- 判例時報1952号36頁 判例タイムズ1227号120頁

1 高松高裁判決と最高裁判決を読んで比較分析

違いは何か? 何によって結論を異にしているのか?

補足意見2つの意義は?

2 死後凍結精子から生まれた子の認知請求

- 何が問題か ①人工生殖の技術としての是非

- ②それとは別の生まれた子の福祉

- ③認知制度・戸籍制度の意義

- ④法律がない場合に裁判所は?

# 判例38も含めて

- 31日 判例39(墮胎・遺棄致死) 橋
- 判例40(性転換手術) 社本・田中
- 今回の3件を素材に、医事法における「患者の同意」の意義を考える
- これらはどれも同意あり、しかし、その有効性を認めなかった。それはなぜか？

# 上告(控訴)趣意書と判決

- 31日 判例39(墮胎・遺棄致死)橘
- 判例40(性転換手術)社本・田中
- これら2件は、いずれについても、上告趣意書(控訴趣意書)がデータで出てくる(別添のワード文書参照)。
- これらと判決を比較してみよう